

梨収量安定へ 園地で剪定講習

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA

伊勢梨部会は、伊勢市小俣町と玉城町にある園地2カ所で梨の剪定（せんてい）講習会を開いた。剪定の基本を確かめ、来年度の収量を安定させることが狙い。園地に合った管理を見つけようと、部会員15人が参加した。

参加者は、県中央農業改良普及センターと同JAの担当者から、剪定や整枝について実演を交えた説明を受け

た。JAの担当者は「病害の残る枝を適切に除去するためにも、剪定は重要な作業だ。次年度産の収量を安定

させ、生産者の収量安定につなげるためにも、適切な指導をしていきたい」と話した。

JA管内では、部会



普及センター担当者から剪定について指導を受ける部会員ら

員19人が玉城町と伊勢市小俣町の約6畝で「幸水」や「豊水」などを栽培している。